

公孫樹 (いちょう) 3月号

～学べ 鍛えろ 夢を持て～

卒業おめでとう!



卒業生の皆さんへ

95名の3年生の皆さん、いよいよ卒業ですね。あと3日に迫った卒業式では、証書を受け取る時、心の中で、3年間の様々な場面が次から次へと浮かんでくることと思います。また、担任の先生も呼名する時、皆さんと過ごした思いが駆け巡ることと思います。卒業生の皆さんもそれに応えて、元気よく返事で応えてほしいと思います。立派な卒業式にしましょう!

在校生の皆さんへ

3月15日は卒業していく先輩のために、立派な態度で素晴らしい式をつくってください。先輩たちが築いてくれた行中の伝統は、在校生の皆さんが引き継いでくれることと信じています。4月には新入生が入学してきます。1年生の見本となる姿を見せてほしいと思います。どのようなことかという、「当たり前」の事を当たり前に行う「やる時は真剣に一生懸命やる」そして、「友だち、後輩を大事にする」。これだけで十分に立派な先輩になります。

3月10日現在 卒業生の進路予定先

公立高校			
学校名	人数	学校名	人数
上尾	3	吹上秋桜	2
伊奈学園総合	1	不動岡	3
浦和	1	本庄	1
大宮光陵	2	松山	1
北本	2	松山女子	1
熊谷	7	妻沼	1
熊谷女子	3	私立高校	
熊谷西	2	国際学院	1
熊谷工業	3	正智深谷	6
熊谷商業	7	東京家政	1
鴻巣	5	東京成徳深谷	4
鴻巣女子	1	東京農大三高	4
進修館	10	花咲徳栄	1
新座総合技術	1	星野	2
羽生第一	1	本庄東	3
羽生実業	3	早稲田本庄	1
深谷商業	2	就職	1
深谷第一	7		

生徒総会・3年生を送る会



3月9日(木)生徒総会、3年生を送る会が行われました。体育館は手作りの飾りで彩られました。行田中学校が、卒業する3年生にとっていつまでも「心のふるさと」でありますように、在校生が一生懸命飾ってくれました。

在校生からの出し物、部活動メッセージ、お世話になった先生からのビデオレター、1年生入学当時からのスライドショー、どれも心のこもった贈り物です。そして恒例のくす玉割りと3年生からのお礼。在校生と卒業生の心が通い合う温かい雰囲気会場が包まれました。



試験の不正行為について

逆説的な言い方ですが、「カンニングをしてはいけないのですか?」という問いに対してあなたはどのように答えますか。以前、カンニングをした生徒は次のように言ったことがありました。「法律違反はしていない」「誰にも迷惑をかけていない」本当にそうでしょうか? 考えてみましょう。



法律違反はしていない?

2011年に京都大学の入試中にインターネット掲示板に問題を投稿し、解答を得るという手口でカンニングが行われた事件がありました。大学は「公正な試験を妨害された」として被害届を出しました。受験生は偽計業務妨害罪(いけいぎょうむぼうがいざい)という罪の疑いで逮捕され、裁判所に送られました。しかし、悪質性が低いこと、深く反省していることなどから今回に限っては不処分となりました。有罪か無罪か、ととてもグレーゾーンな事件でした。このような事件は、今後、有罪となり処分される可能性も秘めています。

誰にも迷惑をかけていない?

大切なテストでカンニングを行っていた人がいた、と知ったら皆さんはどう思いますか? 「ひどいやつだ!」「もしかしたら、他にもカンニングをしている人がいるかもしれない」「なんだ、まじめにやっているだけ損じゃないか...」テストそのものの「公正さ」までも疑いが出てくることになります。カンニングは、例えて言えば、100m競争で皆が一緒のスタートラインに立っているのに、1人だけ10m前に勝手にラインを引いてスタートするようなものです。また、皆が乗車ホームで列を作って待っているのに、降車ホームのドアから電車に乗って、席に座ってしまうのと同じです。カンニングという不正行為は、個人のいけない行為にとどまるものではないのです。それは、信頼関係の問題となり、その人の信用をなくすだけでなく、テストの「公正さ」までも失われることになり、集団の秩序にもヒビが入ってしまう極めて重大な問題です。

最大の問題点は・・・

カンニングの最大の問題点は、「不正行為でとった得点は、本当の自分の評価でない」ということです。つまり、「ニセモノの評価」であり、「人に嘘をつく」と同時に「自分に嘘をついている」ということです。それはインチキです。

このことはテストだけではありません。自分を少しでも人に良く見せたい、良く思われたい、それは誰でも考えることです。そして、つい、背伸びをしてしまいます。カッコつけてしまいます。時には、嘘もついてしまいます。そして、周りにそう思わせてしまうと、今度は本当の自分がバレないことに必死になります。背伸びをしたら、カカトをつけられなくなってしまうのです。

在校生のみならず、(老婆心ながら)卒業生の皆さんも、当たり前のことですが試験の不正行為は厳禁です。高校・大学では進級にかかわることもあります。「偽りの自分」には決してならないでください。

最後に・・・

テストを返してこんなことがありました。「先生、ここ間違っているのに○になっています」と、点数を下げる訂正を申し出る生徒がいました。私はその時、「ごめんなさい」と言って、×に直さざるをえませんでした。それが真実ですから。でも、心の中で、必ず話しかけます。「テストの点数は下がったけれど、君の人間の点数は上がったよ。そうやって本当の自分で生きていくことが大切だよ。次は頑張れよ!」と。

